

学校法人天理大学 財務の概要

(1) 平成 23 年度決算の概要

平成 23 年度決算について、予算と対比してその概要を報告します。

◆ 資金収支計算

資金収支計算書は、当該年度における教育・研究その他の活動に対応するすべての収支内容、並びに支払資金の収支のてん末を明らかにしたものです。すべての収支内容を明らかにするとは、実際の収入・支出に限らずその会計期間に入金又は出金すべき額、すなわち未収入金や未払金も収入・支出に含め、授業料免除等のお金の動きが実際にはない活動も含めることとなります。また、支払資金のてん末とは、支払資金の前年度末残高、入金、出金及び年度末残高を明らかにすることです。従って収入には前年度繰越支払資金を含めて計算し、支出には次年度繰越支払資金を含めて計算することになり、収入の部合計と支出の部合計は一致します。

資金収支計算書は企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いものですが、個々の収入金額、支出金額は前受金、未収入金、未払金、前払金等で処理した費用も含まれていますので、必ずしもキャッシュ・フローとはなっていません。しかし、それら前受金等を調整する「調整勘定」を設けることにより、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

(単位：千円)

●収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,394,347	3,394,678	△ 331
手数料収入	66,027	77,457	△ 11,430
寄付金収入	3,100,500	3,100,250	250
補助金収入	1,308,087	1,290,385	17,702
資産運用収入	53,356	53,203	153
資産売却収入	100,000	100,000	0
雑収入	399,483	440,927	△ 41,444
前受金収入	474,250	526,665	△ 52,415
その他の収入	192,157	492,630	△ 300,473
資金収入調整勘定	△ 866,681	△ 880,210	13,529
前年度繰越支払資金	4,169,107	4,169,107	
収入の部合計	12,390,633	12,765,092	△ 374,459

●支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費支出	6,495,392	6,441,977	53,415
教育研究経費支出	1,262,471	1,167,167	95,304
管理経費支出	375,404	365,987	9,417
借入金等利息支出	4,288	4,288	0
借入金等返済支出	100,000	100,000	0
施設関係支出	87,310	87,233	77
設備関係支出	194,575	192,498	2,077
資産運用支出	101,310	109,078	△ 7,768
その他の支出	900,861	900,861	0
資金支出調整勘定	△ 1,397,491	△ 1,302,346	△ 95,145
次年度繰越支払資金	4,266,513	4,698,349	△ 431,836
支出の部合計	12,390,633	12,765,092	△ 374,459

収入の部では、学生生徒等納付金収入に今年度より海外語学実習費用が加わり、決算額はほぼ予算どおりとなりました。手数料収入は入学検定料収入の増額により1143万円の収入超過となっています。寄付金収入は宗教法人天理教より31億円、その他の寄付金が25万円です。補助金収入は国庫補助金収入がほぼ予算どおりでしたが、地方公共団体補助金収入が見込みを下まわったことから1770万円が予算額より減額となりました。資産運用収入は債券等の運用利率の低迷により予算額より減額となっています。雑収入は私立大学退職金財団等交付金収入が増額、また、その他の雑収入では文部科学省科学研究費補助金間接経費等が増えたため収入超過となりました。また、退職給与引当金の計算にあたり、退職給与引当資産からの繰入収入を3億円計上しました。当年度収入合計は前年度の82億5775万円より1億9915万円増加して84億5690万円となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では127億6509万円となりました。

支出の部では、人件費支出は早期退職者特別退職金等の退職金分が見積りより減額したこと等から、予算額より5342万円下まわっています。教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出、設備関係支出に計上された主な工事、備品等の整備は以下のとおりです。

施 設	内 容
大 学	◇3号棟4号棟教室照明改修工事 ◇マルチメディア教室設備更新工事 ◇体育学部グラウンド照明更新工事 ◇CALLシステムユーザーサポート作業委託料 ◇8号棟図書室スタッフ派遣料 ◇6号棟教室机椅子入替 ◇在米日本人・日系アメリカ人対策公文書記録購入 ◇図書資料閲覧データ登録作業費 ◇キャリアポートフォリオシステム導入 ◇マイクロフィルムデジタルビューアー・スキャナー購入

施設	内 容
図書館	◇放送設備アンプ更新工事 ◇重要文化財保存修理 ◇文学堂書店連歌資料 ◇特別図書「ディケンズ オリヴァー・ツイスト」他購入
参考館	◇台湾原住民関係古文書修復
高等学校	◇ホッケー場人工芝構築工事 ◇陽心寮エアコン設備・給湯設備工事 ◇さおとめ寮エアコン設備工事 ◇校舎外周防犯カメラ設置工事 ◇調理教室調理器購入 ◇一部硬式野球部選抜野球大会出場他補助 ◇白球寮舎監宅改修工事 ◇火水風寮大屋根防水改修工事・手摺塗装工事
中学校	◇体育館床ライン及び床面改修工事 ◇グラウンド散水設備工事 ◇音楽室エアコン設備工事

日本私立学校振興・共済事業団からの借入金にかかる返済支出は予算とおり1億円、同利息分が429万円です。資金支出は合計で127億6509万円となり、そのうち次年度繰越支払資金は46億9835万円となりました。

◆ 消費収支計算

消費収支計算は企業会計における損益計算の仕組みに類似しています。すなわち帰属収入（学校法人の負債とならない収入＝収益）から基本金組入額（教育・研究を継続的に維持向上させていくために必要な土地、建物、機器備品、図書等を取得した金額＝資産）を差し引いた消費収入と消費支出（消費した資産の価額及び用役の対価＝費用）を比較して、その均衡の状態、収入が超過しているか、あるいは支出が超過しているかを判定するものです。（損益計算書では計上されない資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が主な相違点です。）

学校法人は企業と異なり収益の獲得を目的とするものではありませんので、学校法人会計には損益の計算という概念はありません。教育研究内容に見合った適正な収入を得て、教育研究活動の機会と場を永続的に提供することを目的としています。消費収支計算書の消費収入と消費支出が長期的にはつり合い、必要な資産が維持されることが健全な学校経営として望まれるところです。

（単位：千円）

●消費収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,394,347	3,394,678	△ 331
手数料	66,027	77,457	△ 11,430
寄付金	3,189,620	3,250,441	△ 60,821
補助金	1,308,087	1,290,385	17,702

資産運用収入	53,356	53,203	153
雑収入	399,483	649,935	△ 250,452
帰属収入合計	8,410,920	8,716,099	△ 305,179
基本金組入額合計	△382,475	△204,849	△ 177,626
消費収入の部合計	8,028,445	8,511,250	△ 482,805

●消費支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費	6,496,592	6,220,850	275,742
教育研究経費	1,960,191	1,858,820	101,371
管理経費	639,776	622,004	17,772
借入金等利息	4,288	4,288	0
資産処分差額	29,700	64,397	△ 34,697
消費支出の部合計	9,130,547	8,770,359	360,188

当年度消費支出超過額	1,102,102	259,109	
前年度繰越消費支出超過額	9,751,799	9,751,799	
翌年度繰越消費支出超過額	10,853,901	10,010,908	

【用語（科目）の説明】

- ① 学生生徒等納付金……授業料、入学金、実験実習料、維持費、教育設備充実費等
- ② 手数料……入学検定料、試験料、証明手数料等
- ③ 寄付金……宗教学法人天理教よりの回付金、一般寄付金等
- ④ 補助金……私立大学等経常費補助金、奈良県私立学校経常費補助金等
- ⑤ 資産運用収入……預金、有価証券等の利息、配当金等
施設設備の賃貸料収入
- ⑥ 資産売却差額……資産売却収入がその帳簿残高を超えた場合の超過額
- ⑦ 雑収入……私立大学退職金財団等交付金収入、その他の雑収入
- ⑧ 帰属収入……すべての収入のうち、借入金等の負債の増加とならない、本来的に学校法人に帰属する収入
(資金の収入を伴わない現物寄付を含む)
- ⑨ 基本金組入額……取得した建物、機器備品等の固定資産のうち、帰属収入をもって充当した額
- ⑩ 人件費……教員・職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費
役員報酬、退職給与引当金組入額
- ⑪ 教育研究経費……教育研究のために要する経費及び教育研究用減価償却資産の減価償却額
- ⑫ 管理経費……教育研究経費以外の経費及び教育研究用以外の減価償却資産の減価償却額

- ⑬ 借入金等利息……………借入金に係る利息
- ⑭ 資産処分差額……………固定資産を廃棄した場合の除却損

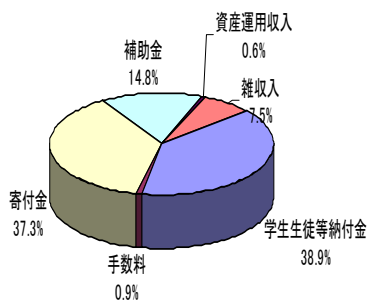
《前述の資金収支と共通の科目があるので、消費収支特有のものについて説明します。》

消費収入の部では、帰属収入合計が予算比 3.6%増の 87 億 1610 万円（前年度 6.7%〈5 億 4943 万円〉の増）となりました。基本金組入額合計が、予算比 46.4%減の 2 億 485 万円となり、消費収入合計は予算比 6.0%増の 85 億 1125 万円（前年度比では 8.3%〈6 億 5274 万円〉の増）となりました。消費収入特有の現物寄付としては大学後援会等より図書の受贈、文部科学省科学研究費補助金による備品購入があり、また、天理市との土地交換を現物寄付金として計上しました。寄付金は 32 億 5044 万円（前年度比では 0.6%〈2102 万円〉の減）となりました。消費支出の部では、人件費に退職給与引当金繰入額 7 億 9909 万円を含み、資金収支計算での人件費支出との差額は 2 億 2113 万円となっています。教育研究経費に 6 億 2710 万円、管理経費に 2759 万円の減価償却費を含んでいます。天理市との土地交換を寄付金として管理経費に 2 億 1900 万円計上しました。消費支出の部合計は 87 億 7036 万円（前年度比では 6.6%〈5 億 4230 万円〉の増）となりました。

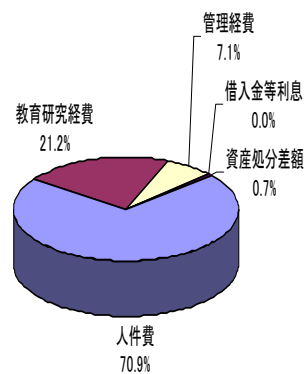
当年度消費収支差額は 2 億 5911 万円の消費支出超過額（前年度は 3 億 6955 万円の消費支出超過額）となり、前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額は 100 億 1091 万円となりました。

《消費収支計算のグラフ》

帰属収入の構成比



消費支出の構成比



◆ 貸借対照表

貸借対照表は、当法人の財政状態を明示するために、年度末に保有するすべての、資産、負債、基本金および消費収支差額を前会計年度末の額と比較して一覧表示したものです。資産の部は、貸借対照表の借方に表示され、学校法人天理大学に投入された資金がどのように使われているかを表示します。貸方に表示される負債、基本金、消費収支差額はその資産が他人の資金（負債）によって賄われているか、自己資金（基本金、消費収支差額）で賄われているか、すなわち資金の源泉を表示しています。

企業会計という資本という概念がないので、基本金の部（基本金として組み入れている金額）と消費収支差額の部（消費収支計算で消費収入から消費支出を差し引いたものの会計年度末までの累計額）が貸方に計上されることが企業会計のものとは異なる点です。

また、記載金額は期末時点の財産価値ではなく取得した当初の価額を基準とし（取得原価基準）、建物、機器備品等の時の経過によりその価値を減少させる固定資産の貸借対照表計上額は、減価償却をおこなった後の金額となります。

（単位：千円）

●資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	27,373,143	28,037,263	△ 664,120
有形固定資産	25,560,401	25,933,599	△ 373,198
その他の固定資産	1,812,742	2,103,664	△ 290,922
流動資産	5,078,625	4,366,395	712,230
資産の部合計	32,451,768	32,403,658	48,110

●負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	1,090,525	1,411,651	△ 321,126
流動負債	2,061,544	1,638,048	423,496
負債の部合計	3,152,069	3,049,699	102,370

●基本金の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	38,521,855	38,317,081	204,774
第3号基本金	138,753	138,677	76
第4号基本金	650,000	650,000	0
基本金の部合計	39,310,608	39,105,758	204,850

●消費収支差額の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△10,010,909	△9,751,799	△ 259,110
消費収支差額の部合計	△10,010,909	△9,751,799	△ 259,110
負債の部、基本金の部及び			
消費収支差額の部合計	32,451,768	32,403,658	48,110

【用語（科目）の説明】

- ⑮ 固定資産……………有形固定資産：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛
 その他の固定資産：有価証券、引当資産等
- ⑯ 流動資産……………現金預金、未収入金、仮払金、貯蔵品
- ⑰ 固定負債……………長期借入金、退職給与引当金
- ⑱ 流動負債……………短期借入金、未払金、前受金、預り金
- ⑲ 基本金……………第1号基本金：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛等の教育研究に必要な資産を
 自己資金で取得した総額
 第3号基本金：天理大学ふるさと会海外研修基金、果実を学生の海外研修費用の一部に充当
 第4号基本金：学校法人が円滑な運営を行うために必要な運転資金の額
- ⑳ 消費収支差額 ……………当年度以前の各年度の消費収入から消費支出を差し引いた差額の累計額

資産の部では、有形固定資産が施設設備の更新、受贈等による増加と資産の除却による減少及び減価償却額を差し引いて、前年度末から3億7320万円減少しています。その他の固定資産は有価証券等の増額がありましたが、退職給与引当資産3億円を現金預金に繰り入れたことにより2億9092万円減少しています。流動資産は現金預金の増加等により7億1223万円の増となり、資産の部合計では差引4811万円増の324億5177万円となりました。負債の部では借入金、退職給与引当金が減少し、未払金、前受金、預り金が増加したので差引1億237万円増の31億5207万円となっています。基本金の部では2億485万円の基本金組み入れを行いましたので総額393億1061万円となりました。

消費収支差額の部合計は、消費収支計算の翌年度消費支出超過額と同額の100億1091万円の消費支出超過となっています。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は292億9970万円となりました。

(2) 経年比較

財務状況について、収支計算書及び貸借対照表の大科目又は主な科目の過去5年間の推移を記載します。

(単位：千円)

資金収支計算書					
●収入の部					
科 目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
学生生徒等納付金収入	3,502,470	3,450,498	3,388,355	3,289,724	3,394,678
手数料収入	81,407	75,177	75,701	78,616	77,457
寄付金収入	3,416,733	3,390,877	3,251,160	3,258,298	3,100,250
補助金収入	1,393,259	1,257,913	1,260,021	1,222,293	1,290,385
資産運用収入	56,214	60,029	59,984	55,280	53,203
資産売却収入	7,480	16,311	510	104,640	100,000
雑収入	335,837	412,667	308,612	248,903	440,927
前受金収入	637,943	638,723	548,415	505,340	526,665
その他の収入	313,255	389,120	338,524	299,592	492,630
資金収入調整勘定	△ 963,517	△ 976,467	△ 928,536	△ 739,670	△ 880,210
前年度繰越支払資金	5,812,883	5,056,219	4,378,655	3,937,418	4,169,107
収入の部合計	14,593,964	13,771,067	12,681,401	12,260,434	12,765,092

●支出の部					
科 目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費支出	6,545,166	6,779,260	6,160,675	6,034,553	6,441,977
教育研究経費支出	1,152,133	1,206,959	1,161,355	1,171,301	1,167,167
管理経費支出	343,176	419,252	390,313	386,706	365,987
借入金等利息支出	10,618	9,035	7,453	5,870	4,288
借入金等返済支出	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
施設関係支出	882,432	984,777	76,743	65,030	87,233
設備関係支出	226,910	261,093	245,002	236,194	192,498
資産運用支出	105	142	234,728	96	109,078
その他の支出	1,263,672	987,508	1,360,152	922,438	900,861
資金支出調整勘定	△ 986,467	△ 1,355,614	△ 992,438	△ 900,861	△ 1,302,346
次年度繰越支払資金	5,056,219	4,378,655	3,937,418	4,169,107	4,698,349
支出の部合計	14,593,964	13,771,067	12,681,401	12,260,434	12,765,092

(単位：千円)

消費収支計算書					
●消費収入の部					
科 目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
学生生徒等納付金	3,502,470	3,450,498	3,388,355	3,289,724	3,394,678
手数料	81,407	75,177	75,701	78,616	77,457
寄付金	3,425,909	3,415,086	3,466,252	3,271,458	3,250,441
補助金	1,393,259	1,257,913	1,260,021	1,222,293	1,290,385
資産運用収入	56,214	60,029	59,984	55,280	53,203
資産売却差額	0	7,807	0	393	0
雑収入	335,837	412,668	552,692	248,903	649,935
帰属収入合計	8,795,096	8,679,178	8,803,005	8,166,667	8,716,099
基本金組入額合計	△ 1,126,131	△ 953,736	△ 423,714	△ 308,159	△ 204,849
消費収入の部合計	7,668,965	7,725,442	8,379,291	7,858,508	8,511,250

●消費支出の部					
科 目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費	6,664,826	6,746,319	6,212,382	5,851,321	6,220,850
教育研究経費	1,891,658	1,960,866	1,914,122	1,909,723	1,858,820
管理経費	385,682	460,866	730,247	425,029	622,004
借入金等利息	10,618	9,035	7,453	5,870	4,288
資産処分差額	37,399	83,004	16,240	36,114	64,397
消費支出の部合計	8,990,183	9,260,090	8,880,444	8,228,057	8,770,359
当年度消費支出超過額	1,321,218	1,534,648	501,153	369,549	259,109
前年度繰越消費支出超過額	6,189,947	7,511,165	9,035,533	9,382,250	9,751,799
基本金取崩額	0	10,280	154,436	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	7,511,165	9,035,533	9,382,250	9,751,799	10,010,908

(単位：千円)

貸借対照表					
●資産の部					
科 目	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末
固定資産	28,347,694	28,730,208	28,639,014	28,037,263	27,373,143

流動資産	5,366,169	4,725,940	4,235,569	4,366,395	5,078,625
資産の部合計	33,713,863	33,456,148	32,874,383	32,403,658	32,451,768
●負債の部					
固定負債	1,876,116	1,743,175	1,694,883	1,411,651	1,090,525
流動負債	1,764,048	2,220,185	1,764,152	1,638,048	2,061,544
負債の部合計	3,640,164	3,963,360	3,459,035	3,049,699	3,152,069
●基本金の部					
第1号基本金	36,796,535	37,739,857	38,009,016	38,317,081	38,521,855
第3号基本金	138,329	138,464	138,582	138,677	138,753
第4号基本金	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000
基本金の部合計	37,584,864	38,528,321	38,797,598	39,105,758	39,310,608
●消費収支差額の部					
翌年度繰越消費支出超過額	△ 7,511,165	△ 9,035,533	△9,382,250	△ 9,751,799	△10,010,909
消費収支差額の部合計	△ 7,511,165	△ 9,035,533	△9,382,250	△ 9,751,799	△10,010,909
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	33,713,863	33,456,148	32,874,383	32,403,658	32,451,768

(3) 主な財務比率の推移

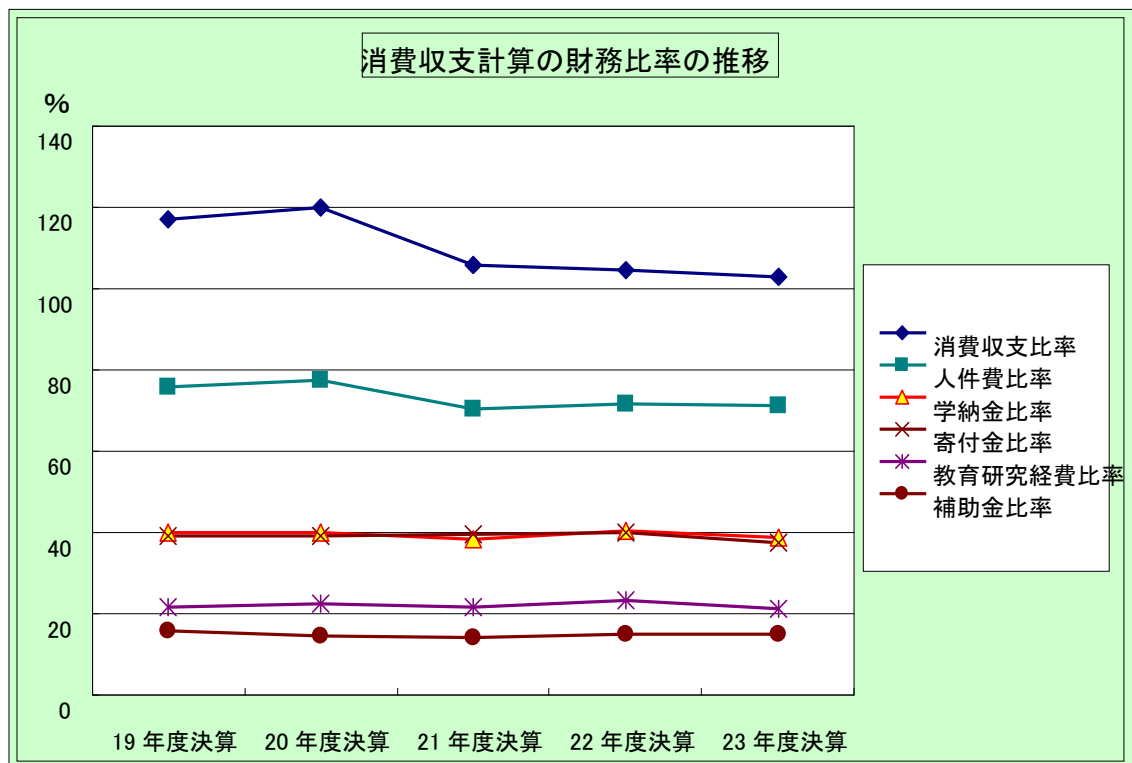
主な消費収支計算書関係比率と貸借対照表関係比率の過去5年間の推移を掲載し、一部の比率についてグラフにより概要を説明します。

(単位：%)

比 率	算 式 (×100)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	75.8	77.7	70.6	71.6	71.4
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	190.3	195.5	183.3	177.9	183.3
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	21.5	22.6	21.7	23.4	21.3
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	4.4	5.3	8.3	5.2	7.1
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.1	0.1	0.1	0.1	0
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△2.2	△6.7	△0.9	△0.8	△0.6

消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	117.2	119.9	106.0	104.7	103.0
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	39.8	39.8	38.5	40.3	38.9
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	39.0	39.3	39.4	40.1	37.3
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	15.8	14.5	14.3	15.0	14.8
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	89.2	88.2	89.5	90.6	90.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	304.2	212.9	240.1	266.6	246.4
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	12.1	13.4	11.8	10.4	10.8
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	98.4	98.6	98.9	99.2	99.4

「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をあらわす。



消費収支比率は100%を恒常的に上まわり、23年度では3.0ポイント上まわりました。人

件費比率が19・20年度は停年退職者による退職金の増加によりアップしていましたが（平均76.8%）、21年度以降は21年度70.6%、22年度71.6%、23年度71.4%と下降傾向です。学生生徒等納付金比率（学納金比率）及び寄付金比率はほぼ横ばい状態で推移しています。教育研究経費比率は管理経費の増額等により2.1ポイント下がっています。補助金収入は、22年度より増額となりましたが、比率は0.2ポイント下がっています。